公開用

平成３０年度蕨市保健センター運営委員会　議事録

日　時　平成３１年２月７日
午後１時３０分～午後３時
場　所　保健センター（健康教育室）

＜出席者＞

委員：飯野朗子委員長　羽根田高洋委員長代理　小泉紀子委員　平井恵子委員　飯田努委員　小島淳子委員　梶原秀明委員　古川歩委員　佐藤則夫委員　加瀬勝一委員（代理　兵頭南部保健所副所長）

事務局：石丸岳広所長　朝倉久美子保健指導係長　池澤英明庶務係長　鹿嶋恵美子保健師　細野亜紀子保健師

＜欠席者＞

委員：鈴木芳美委員

配布資料：①「資料　平成３０年度蕨市保健センター運営委員会」②「平成２９年度蕨市保健事業統計」、③「わらび健康アップ計画情報紙　健康密度も日本一のまちへ」

議事

＜（１）平成２９年度・平成３０年度事業実施状況について＞

◆事務局説明：平成 29 年度・平成 30 年度の主な事業を中心に説明

○委員長：胃がん検診の胃内視鏡検査をみると、２９年度対象者 500 名に対して受診者 392 名。30 年度は 600 名定員のところ、12 月末現在で受診者 362 名。歯周疾患節目外については、29 年度は希望者 731 名より抽選で 100 名としているが、受診者 59 名、30 年度は希望者 618 名より 100 名抽選し受診者 60 名という状態である。

委員長代理：節目外で抽選当選された歯周疾患検診については、年々受診率が低下している。以前は 80%あったものが、現在では 60%という状況で、受診期間が長いということも関係しているように思える。１期・２期と分けるなどして期間限定にした方がいいのではないか。また、受診対象人数を増やすなど今後の検討課題としてほしい。

○委員：歯科保健事業についてお聞きしたい。自分も１度検診の対象となったことがあるが、治療もおこなったため、恩恵を受けたのか分かりにくい。どのような制

度になっているのか聞きたい。

事務局：30 歳から 70 歳の節目の年齢の方に通知を送り、周知している。

委員長代理：学校等で行っている歯科健診をイメージしてもらえればわかりやすいと思うが、目視による検診のみの項目であり、そこで治療を行うや、レントゲン撮影でのより詳しい検査を行えば、別となるため、費用が発生する。

委員：歯は痛くならないと受診しない人が多いと思う。

委員長代理：長い目でみて、ケアが必要であるため、是非ＰＲをお願いしたい。

○委員：20 歳の歯科検診について教えてほしい。

委員長代理：（検診の内容についての説明。）これは蕨市独自の事業であり、パノラマレントゲンで顎の状態まで見ているような手厚い検診となっていて、自己負担なしとなることから、受診率 15%くらいのため、ＰＲをしていってほしい。

＜（２）平成３１年度事業予定について＞

◆事務局説明：平成 31 年度に保健センターで予定している事業についての方針や新規事業について説明。

○委員長：トイレの洋式化について、子供が使用することが多いので、子供用の便座が欲しい。

事務局：保健センターは平成２年の建てられたものだが、建物内の給排水管すべて老朽化が進んでおり、平成２８年の空調工事の際に配管取替工事も要求していたが、要求が通らなかった。今回は緊急的に行うため、子供用としては考えていない。来年度の実際の工事時に検討していきたい。

委員長代理：衛生面は大切なことである。子供が保健センターに来て感染してしまうことがあってはいけない。最重要課題として検討して欲しい。

事務局：以前より洋式化にするために予算要求をしてきたところであり、今回は緊急対応だが、今後、全てのトイレを検討していきたい。

○委員：風しんの予防接種について、対象年齢を教えてほしい。

事務局：３９歳から５６歳までの男性が対象。

委員：どのように決まっているのか。

委員長：この年代は接種していない年代になるため。それ以上の年代はすでに感染しており、１回かかっていれば２回目はない。
初めに抗体検査を行い、抗体がない人に接種するということになる。

＜（３）その他について＞

○委員：蕨市は「健康密度も日本一のまちへ」をスローガンとして掲げているが、健康密度のデーターはあるのか。いろいろな事業を展開しているが、そのようなデーターがあれば、強いところや今後力を入れていくところが見えてくるのではないか。

委員長：平均寿命と健康寿命（寝たきりにならない）の差や、市民１人当たりの医療費の金額とかはデーターで出ているので、それを活用していけば健康密度を出せるのではないか。

事務局：健康密度という言葉があるが、市民の皆様が健康に対する意識の高さや健康づくりにどれほど携わっていただいているか、取り組みの意味合いで使っている言葉だが、市町村ごとに健康寿命、いわゆる介護にならないまでの期間と平均寿命がどれだけ格差があるかというデーターはあるので、公表できるのではないかと考えられる。

委員：蕨市は人口密度も日本一と並んで健康密度も日本一ということを掲げているので、データーで分かればいいと感じた。

事務局：健康長寿の取り組みになっていくと思うが、モデル事業についても、蕨市民の方は積極的に取り組んでいただいており、健康密度につながっていくのではないかと思っている。

委員：来年はオリンピックが東京で行われる関係で運動とかで健康増進を行っている企業が申請をすればオリンピックのロゴマークをもらえるというような話を聞いたことがあり、そのようなことも健康増進になるのではないか。

事務局：どちらかというとスポーツ増進という観点の方が色濃くなっていると思うので、担当課と協議していく。

○委員：健康増進事業のことで、公民館にも読み取り機械を置くということだが、埼玉りそな銀行から遠い、塚越だと東公民館ということになるか。

事務局：タブレット式の機器が８個あり、設置個所については今後検討となるが、塚越にも検討している。

委員：参加者は増えてきていると思うが、さらに伸ばすのが目的か。

事務局：ご指摘のとおりで、さらに参加者を増やすためＰＲをしていきたい。

◆事務局：保健センター運営委員会については、毎年２月の第１木曜日とし、来年度は、２０２０年２月６日（木）の開催予定と案内。

午後２時５０分　事務局より閉会を宣言。